

北九州エアターミナル株式会社

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（平成 27 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町 6 番

2 設立年月日

平成元年 5 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 片山 憲一

4 資本金

3,524,000 千円

5 北九州市の出資金

1,000,000 千円（出資の割合 28.4%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13 人	0 人	1 人	12 人
常 勤	4 人	0 人	1 人	3 人
非常勤	9 人	0 人	0 人	9 人
社 員	16 人	0 人	2 人	14 人

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取り組みを進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全且つ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大や縮小等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、地元のイベントや展示を行い、地域情報の発信の場としての役割も果たしていく。

II 平成 26 年度事業実績

1 航空旅客

今期の日本経済は、円安や株高を背景に企業収益は改善傾向にあり、雇用や所得環境も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続いた。

航空業界においては、円安による旅行費用の割安感の浸透などを背景に、アジアを中心に訪日外国人が増加したが、LCCの台頭に伴う航空会社間の競争激化等により、厳しい経営環境が続いている。

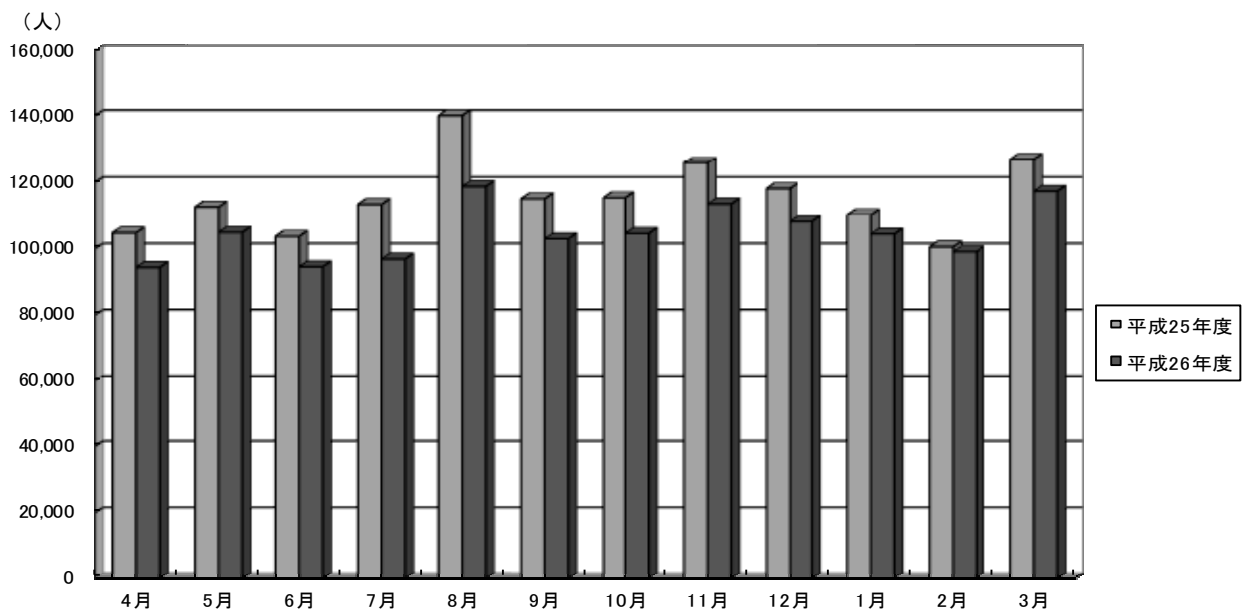
このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）路線の年間旅客数は約1,250千人（前期比101.4%）で約18千人の増となり、過去最高の旅客数となった。3月29日からはフジドリームエアラインズと日本航空との共同運航便である名古屋（小牧）路線が1日2往復就航し、国内定期路線が2路線となった。

一方、国際線では、年間を通じ定期路線が運休した。

チャーター便については、国際線が香港、台北、ソウル、釜山等、国内線が新千歳、那覇、宮古島等に運航し、約10千人（前期比62.9%）の利用があった。

この結果、年間旅客数は約1,260千人（前期比90.8%）となった。

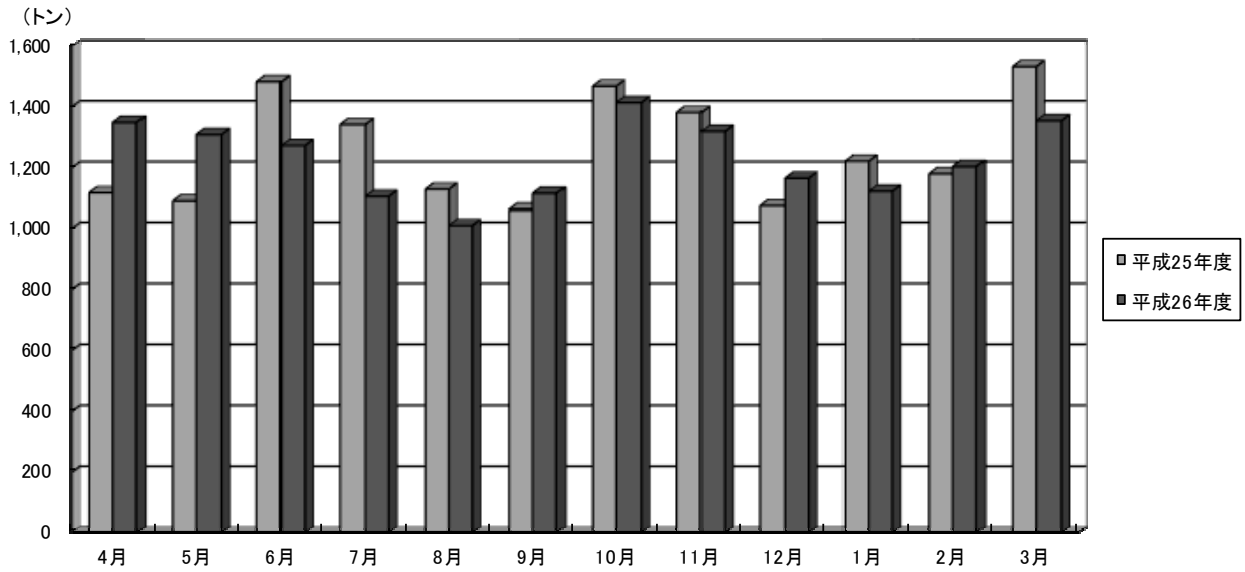
【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



2 航空貨物

国内航空貨物は、年間取扱量が約11千トン（前期比97.2%）となった。また、国際航空貨物は、年間取扱量が約4千トン（前期比99.3%）となった。

【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

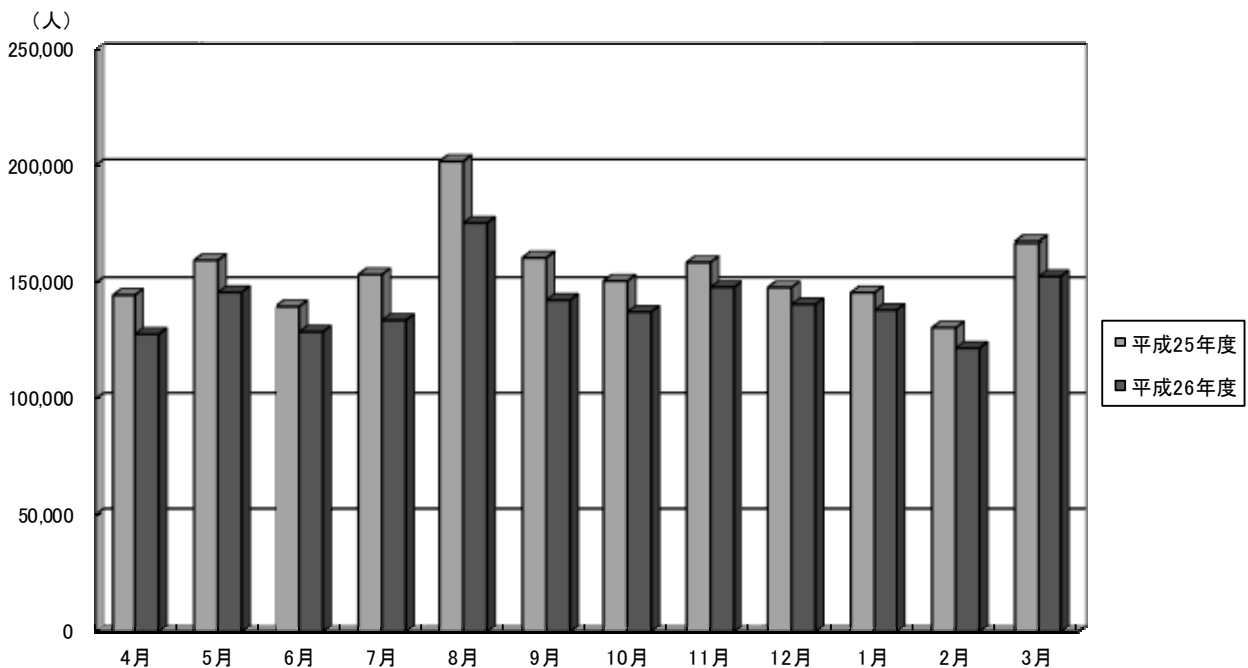


3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

また、年間のターミナルビル来館者は約 1,695 千人（前期比 91.0%）であった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
4月	しものせき海峡まつりパネル展
5月	宮地嶽神社 菖蒲まつりPR展示 フラワーアレンジメント作品展
6月	フィルムコミッションパネル展 七夕飾り
7月	小倉祇園まつりパネル展 小倉競馬場PRブース
7月～8月	ナイトトリップ in 北九州空港 (2回開催)
8月	北九州ディテール展、夏休みカブトムシ展 in 北九州空港、 モバイルスペースラボラトリー、チャンピオンズカップ感動の写真展
9月	「JAL飛行機の絵」作品展示 ジャンボジェット写真展 北九州空港まつり
10月	ゆくはし遺産絵画展、「JAL飛行機の絵」作品展示、 しいたけ 原画展、沼楽奉納演舞・春秋太鼓演奏会
11月	北九州空港菊花展、 百万にこここホスピタリティ運動第8回絵画コンクール表彰式&作品展 示、北海道物産展、食の祭典、池坊「華空会」、イルミネーション点灯式
12月	新池坊作品発表会、しの武おに画展
1月	都市景観賞受賞作品展示、新春鏡開き ぜんざい振る舞い
2月	都市景観賞受賞作品展示
3月	開港9周年記念イベント
通 年	新池坊いけばな展示、豊前街道新鮮市

4 テナント売上増に向けた取組

入店者研修、他空港視察等の各種研修を実施しテナント従業員の能力向上を図った。

また、テナント会店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

さらに、テナント会と共同で、「新春鏡開き ぜんざい振る舞い」等を開催し、お客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施した。

5 施設整備等

特になし

6 経営状況

当社の経営については、国際線定期路線の運休の影響等に伴い、当期売上高は約 686 百万円で前期と比較し、約 126 百万円減少した。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、約 674 百万円で、前期と比較し約 39 百万円の減少となった。また営業外収益は約 26 百万円、営業外費用は約 6 百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約 35 百万円で、当期純利益は約 24 百万円となった。

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表（総括表）

平成 27 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	363,663,655	【流動負債】	318,364,362
現金・預金	300,962,312	買掛金	355,243
未収入金	56,083,287	未払金	32,893,595
商品	299,692	一年以内返済長期借入金	216,504,000
貯蔵品	526,656	リース債務	4,745,706
前払費用	3,840,841	未払費用	2,097,500
繰延税金資産	1,950,867	未払法人税等	3,487,200
		未払消費税等	31,439,300
		前受金	23,136,783
【固定資産】	4,289,529,831	預り金	678,035
(有形固定資産)	4,074,003,247	賞与引当金	3,027,000
建物	3,984,735,969		
構築物	65,941,750	【固定負債】	381,539,765
工具器具備品	9,184,717	預り敷金	28,001,400
機械装置	411,680	預り保証金	56,534,800
車両運搬具	11	長期リース債務	10,090,185
リース資産	13,729,120	退職給付引当金	5,305,411
		預り建設協力金	175,000,000
(無形固定資産)	11,200,665	資産除去債務	106,607,969
電話加入権	124,984	負債合計	699,904,127
水道施設利用権	1,501,875	純 資 産 の 部	
供給施設利用権	9,573,806	【株主資本】	4,037,981,782
		資本金	3,524,000,000
(投資その他の資産)	204,325,919	利益剰余金	513,981,782
投資有価証券	185,803,700	その他利益剰余金	513,981,782
出資金	300,000	繰越利益剰余金	513,981,782
長期繰延税金資産	18,222,219	【評価・換算差額等】	▲ 84,692,423
		その他有価証券評価差額金	▲ 84,692,423
		純資産合計	3,953,289,359
資産合計	4,653,193,486	負債・純資産合計	4,653,193,486

2 損益計算書(総括表)

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位: 円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		686,106,958
売上高	21,750,574	
家賃収入	230,717,338	
管理費収入	182,134,204	
設備使用料収入	228,121,031	
広告料収入	23,383,811	
II 売 上 原 価		3,386,956
売上総利益		682,720,002
III 販売費及び一般管理費		670,835,906
営業利益		11,884,096
IV 営業外収益		26,257,353
受取利息	53,280	
受取配当金	428,000	
雑収入	25,776,073	
V 営業外費用		5,666,743
支払利息	5,641,652	
雑損失	25,091	
経常利益		32,474,706
VI 特別利益		39,681,153
補助金	39,681,153	
VII 特別損失		37,458,529
固定資産除却損	463,020	
車両運搬具圧縮損	26,400,139	
器具備品圧縮損	10,595,370	
税引前当期純利益		34,697,330
法人税、住民税及び事業税		11,419,374
法人税等調整額		▲ 999,900
当期純利益		24,277,856

IV 平成 27 年度事業計画

北九州空港が 24 時間運用の海上空港であるという特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するように取り組んでいく。

1 航空旅客

国内線については、旅客数が堅調に推移したことを受け、行政や団体と連携をとり、便数の増大、路線の拡大、新規航空会社の誘致を目指し、航空会社への積極的な要望活動を行う。

また、3 月 29 日に新規就航した名古屋（小牧）路線は、認知度向上を図るため航空会社や行政及び団体と連携し、PR 活動を行い、認知度向上を図る。

国際線については、定期路線の早期就航を目指し、行政や団体と連携し、航空会社の誘致を行う。

2 航空貨物

貨物については、唯一の国際定期路線である日本貨物航空の台湾（桃園）→北九州→成田路線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、引き続き行政や団体と連携し、随時地上支援機材の整備・更新を行うとともに、滑走路 3,000m への延伸実現に向け国への要望活動等を行う。

3 ターミナルビル来館者

ターミナルビル来館者への事業については、各種イベントを実施するとともに、四季折々の草花を旅客ターミナルビル内に展示し、来館者の憩いの場を提供する。来期は 3 月 16 日に新空港開港 10 周年を迎えることから、例年よりも規模を拡大し、開港 10 周年記念感謝祭を実施する。また、引き続き小学校の社会科見学等を積極的に受け入れる。

4 テナント売上増に向けた取組

テナント会と連携し、各種イベントや研修会等を実施し、売上高の維持・向上を図る。

V 平成 27 年度予算

1 収支予算書(総括表)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位: 千円)

収 入	営業収入	売上高	22,000
		家賃収入	232,000
		管理費収入	181,000
		設備使用料収入	235,000
		広告料収入	24,000
	小 計	694,000	
	営業外収入	雑収入等	26,000
		小 計	26,000
	合 計		720,000
	支 出	営業費用	売上原価
人件費			100,000
一般管理費			44,000
減価償却費			216,000
水道光熱費			88,000
租税公課			44,000
地代			29,000
管理委託費			153,000
小 計		678,000	
営業外費用		支払利息等	2,000
	小 計	2,000	
合 計		680,000	
収 入 - 支 出		40,000	

VI 役員名簿

平成 27 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	片山 憲一	
代表取締役専務	奥 久志	
常務取締役	今村 裕明	
取締役	前川 義広	西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	船越 弘文	新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所 総務部長
〃	佐藤 宗之	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室 担当部長
〃	田中 圭三	日産自動車九州株式会社 取締役執行役員
〃	小倉 良夫	九州電力株式会社 執行役員 北九州支社長
〃	甲斐 庸恭	苅田町 副町長
〃	前原 典幸	TOTO株式会社 総務本部長
常勤監査役	浦野 繁樹	
監査役	川本 惣一	株式会社西日本シティ銀行 取締役副頭取 北九州・山口代表
〃	灰田 利明	行橋市 総務部長